



### 3 補助金の交付の適否に関する基準〔A:適合している、B:適合していない、C非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	区内商店街の活性化と安全で安心できるまちづくりに資する
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	実施計画の商店街支援事業に適合しているため。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	区内商店街の活性化のため、区が補助する必要がある
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	装飾灯等の維持管理及び電力費負担ができなくなり、商店会の縮小に繋がる。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	A	地域活動団体広報紙で広く一般に公募している
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	A	要綱に基づき適正に交付決定を行っている
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	補助対象経費の内容から、補助金による支援が最も効率的な手段である。
	補助金の交付による効果が認められるか	A	区内商店街の活性化に資する
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	区内商店街の活性化に資する
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	B	CO2排出量の削減につながっているが、実施したエリアに限定されるため。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	A	地方自治法、文京区補助金等交付規則等に則った補助制度としている。
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	A	商店会は、商店街の活性化と安全で安心できるまちづくりを図るため、装飾灯の点灯を行っている。
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	A	商店会における会計報告及び区への実績報告書提出によるチェックを行っている。

### 4 交付実績

(件、千円)

項目	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
交付(見込み)件数	39	39	38	38
決算(予算)額	5,929	5,988	6,428	6,010
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	5,929	5,988	6,428	6,010
26年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)	区内38商店会に対し補助を行った。 区内商店街の活性化につながった。			

### 5 課題及び今後の方向性

安心安全なまちづくりに寄与していただく点からも、積極的な活用を促進する。